

## 「日本の雪崩対策と課題」

森谷 涼

### 要旨

雪崩事故は、地震や津波に比べて死傷者数等の損害は比較的少ないが、頻繁に発生している。2017年の那須雪崩事故では、登山経験が少ない高校生が冬山に登山して命を落とし、高校生等の登山の運営や制度などが特に問題視された。事故後に制度の変更がされたが、未だに高校生が冬山に登山する手段が存在している。

本研究では那須雪崩事故では何が問題であったのか、那須雪崩事故が発生する前と後で変更された制度や仕組みを検討するとともに、雪崩予防先進国とも比較して現在の制度、対策などが本当に最適であるのか考察し、毅然に雪崩対策の問題点を明らかにするものである。経験や知識の少ない高校生が冬山に登山することが、いかに過酷で危険なことか、また、日本の雪崩対策への関心は雪崩予防先進国であるカナダと比べると、かなり劣っていることを理解してもらいたい。